

農業技術 プリズム

露地ビワの出荷情報は、市場において有利な販売環境を確保する重要な情報です。これまで当センターでは積算気温や生育速度を利用して収穫日を予測する手法を明らかにしていましたが、産地全体の出荷量や時期を予測し市場などに提供するまでは至っていませんでした。

そこで、これまでの収穫予測と園地台帳を組み合わせることで、産地全体の青果出荷量、出荷時期を予測するシステムを開発しました。予測システムは、着房率、結果樹面積、寒害減収率による産地全体の出荷量の推定値、日平均

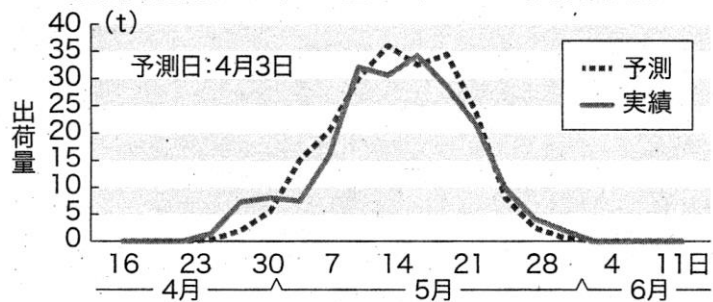
気温を用いた収穫期予測法、園地台帳に記録された園地情報（圃場ⅡほじょうⅡの場所、面積、品種、樹齢）を組み合わせて産地全体の出荷時期と量を推定します。

露地ビワの出荷情報

市場販売環境有利に 予測システムを開発

予測に必要な気温は、県内企業が開発した気象観測装置をビワ産地に設置し、収集しています。この装置はLPW

気象観測データに基づくビワの出荷予測



△を利用することで通信費の低コスト化を実現し、気象データからの積算降水量も表示できるので農薬散布の判断にも活用できます。

（県農林技術開発センター 研究企画部門 研究企画室 専門研究員 後田経雄）